

平成22年埼玉県鉱工業指数の概要

1 概況 ー生産指数、出荷指数ともに上昇ー

平成22年の埼玉県鉱工業指数（平成17年平均=100）は前年に比べ、生産16.4%、出荷16.2%、在庫31.9%と上昇し、在庫率は▲6.9%と低下した。

四半期別に一年間の動きをみると、生産及び出荷は1～3月期、4～6月期が対前期比で上昇、7～9月期、10～12月期で低下した。

また、在庫は年間をとおして全期上昇した。

業種別（生産・出荷22業種、在庫21業種）にみると、生産は、一般機械工業・輸送機械工業など17業種で上昇、食料品工業・情報通信機械工業など5業種で低下、出荷は、輸送機械工業・一般機械工業など17業種で上昇、その他製品工業・食料品工業など5業種で低下、在庫は、輸送機械工業・電子部品・デバイス工業など7業種で上昇、木材・木製品1業種で横ばい、電気機械工業・その他製品工業など13業種が低下した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種 別		21年	22年	22年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	78.6	91.5	89.8	92.8	92.2	91.1
	増加率(%)	▲22.3	16.4	8.6	3.3	▲0.6	▲1.2
出 荷	指 数	75.3	87.5	86.5	89.9	88.3	85.3
	増加率(%)	▲24.8	16.2	6.8	3.9	▲1.8	▲3.4
在 庫	指 数	66.8	88.1	66.2	67.7	68.6	80.2
	増加率(%)	▲39.3	31.9	9.8	2.3	1.3	16.9
在 庫 率	指 数	145.5	135.5	106.9	121.2	150.6	167.6
	増加率(%)	40.3	▲6.9	▲5.8	13.4	24.3	11.3

図1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

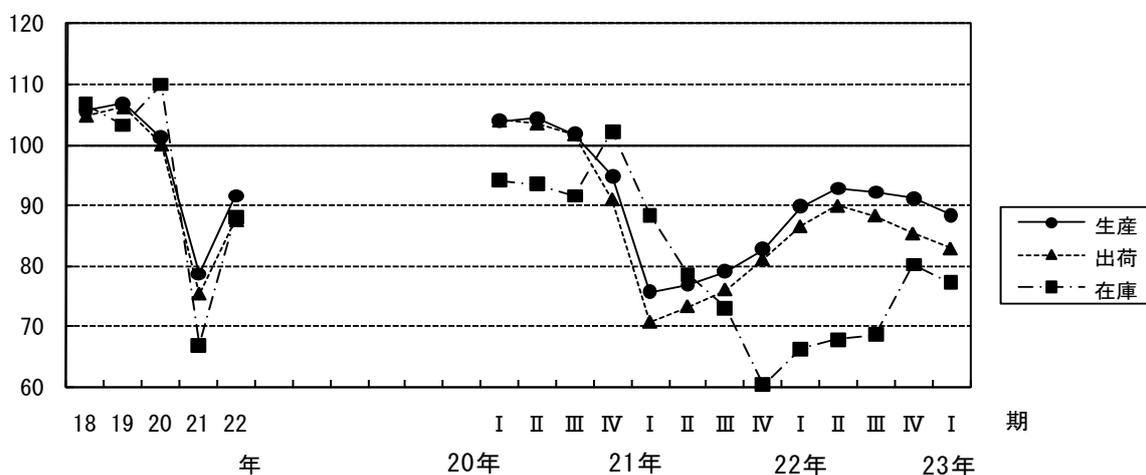


表1-2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

*生産

上昇した主な業種	一般機械工業	50.8% (4.9%)	空気圧機器 乗用車
	輸送機械工業	51.2% (4.6%)	
低下した主な業種	食料品工業	▲3.3% (▲0.2%)	即席麺 携帯電話
	情報通信機械工業	▲3.0% (▲0.1%)	
上昇した主な品目	空気圧機器(一)、乗用車(輸)、医薬品(化)		
低下した主な品目	携帯電話(情)、基地局通信装置(情)、管楽器(他)		

*出荷

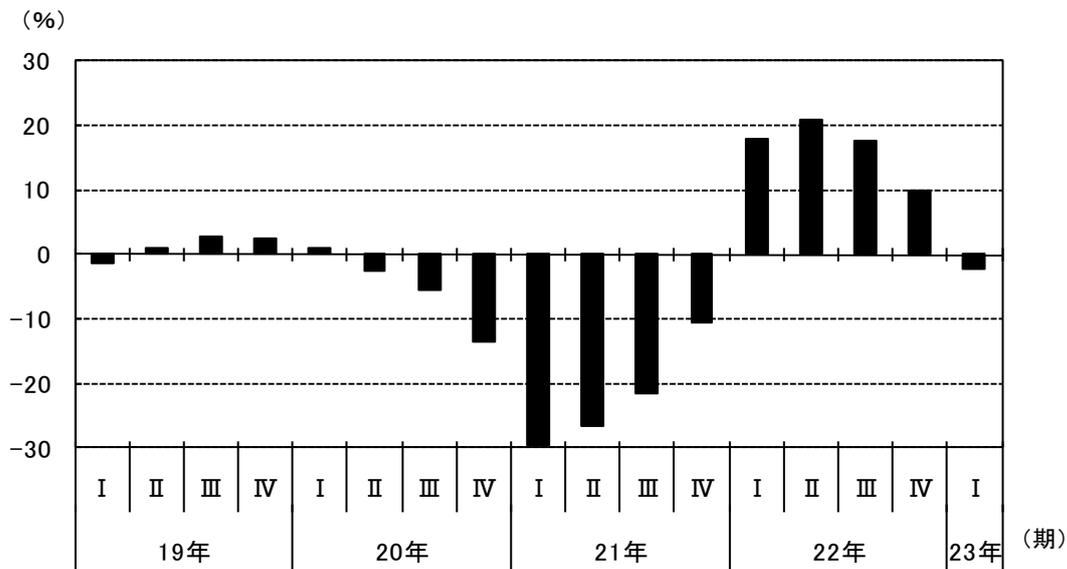
上昇した主な業種	輸送機械工業	43.0% (7.2%)	乗用車 空気圧機器
	一般機械工業	40.9% (3.2%)	
低下した主な業種	その他製品工業	▲22.0% (▲0.3%)	電子キーボード類 即席麺
	食料品工業	▲3.5% (▲0.3%)	
上昇した主な品目	乗用車(輸)、空気圧機器(一)、自動車エンジン(輸)		
低下した主な品目	携帯電話(情)、基地局通信装置(情)、電子キーボード類(他)		

*在庫

上昇した主な業種	輸送機械工業	866.2% (36.2%)	乗用車 整流素子
	電子部品・デバイス工業	38.1% (2.7%)	
低下した主な業種	電気機械工業	▲24.4% (▲5.5%)	電気掃除機 電子キーボード類
	その他製品工業	▲34.4% (▲1.5%)	
上昇した主な品目	乗用車(輸)、整流素子(電子)、HIDランプ(電)		
低下した主な品目	電気掃除機(電)、クッキングヒーター(電)、電子レンジ(電)		

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図1-2 生産指数前年同期比の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 —生産、出荷指数ともに上昇—

平成22年の金属製品工業は、前年に比べ、生産は5.4%の上昇、出荷は3.4%の上昇、在庫は16.7%の上昇であった。

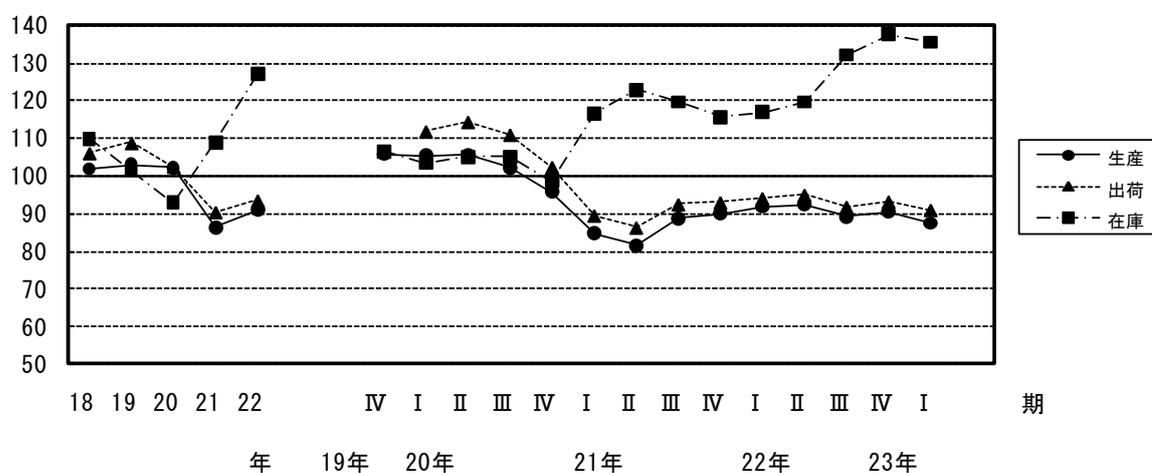
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は粉末や金製機械材料・粉末や金製磁性材料など、在庫は食缶・一般缶などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は一般缶など、在庫はスチール・ステンレスドア・うす板ばねなどが寄与した。

表2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	86.3	91.0	91.9	92.5	89.3	90.5
	増加率(%)	▲15.6	5.4	2.0	0.7	▲3.5	1.3
出荷	指数	90.5	93.6	94.2	95.1	91.9	93.3
	増加率(%)	▲17.7	3.4	1.2	1.0	▲3.4	1.5
在庫	指数	108.9	127.1	117.0	119.7	132.2	137.6
	増加率(%)	17.1	16.7	1.1	2.3	10.4	4.1
在庫率	指数	128.2	150.2	137.7	142.6	160.0	165.0
	増加率(%)	40.7	17.2	2.7	3.6	12.2	3.1

図2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 ー生産、出荷指数ともに4年ぶりに上昇ー

平成22年の一般機械工業は、前年に比べ、生産は50.8%の上昇、出荷40.9%の上昇、在庫23.2%の上昇であった。

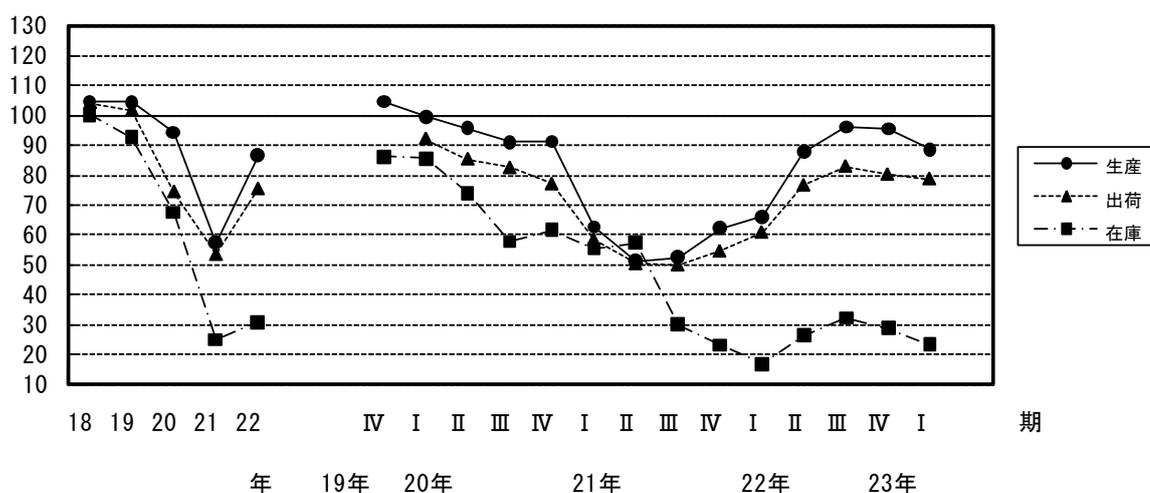
品目別に上昇品目をみると、生産は空気圧機器・半導体製造装置など、出荷は空気圧機器・はん用内燃機関、在庫ははん用内燃機関・マシニングセンタなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産はフラットパネル・ディスプレイ製造装置・エレベータなど、出荷はフラットパネル・ディスプレイ製造装置・マシニングセンタなど、在庫は研削盤・農業用乾燥機などが寄与した。

表2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生 産	指 数	57.5	86.7	66.1	87.9	96.1	95.6
	増加率(%)	▲39.1	50.8	6.3	33.0	9.3	▲0.5
出 荷	指 数	53.6	75.5	61.0	76.7	83.0	80.3
	増加率(%)	▲36.4	40.9	11.5	25.7	8.2	▲3.3
在 庫	指 数	25.0	30.8	16.9	26.3	32.3	28.8
	増加率(%)	▲63.0	23.2	▲26.5	55.6	22.8	▲10.8
在 庫 率	指 数	93.9	41.8	29.2	44.5	46.7	47.9
	増加率(%)	▲10.9	▲55.5	▲50.5	52.4	4.9	2.6

図2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 ー生産、出荷指数ともに4年ぶりに上昇ー

平成22年の電気機械工業は、前年に比べ、生産は49.2%の上昇、出荷は46.5%の上昇、在庫は▲24.4%の低下であった。

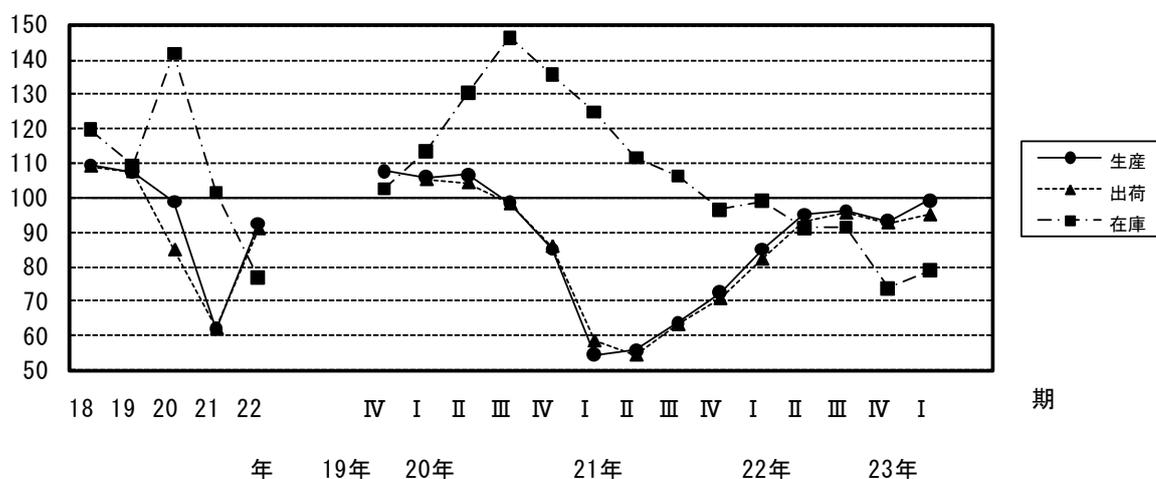
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は開閉制御装置・サーボモータなど、在庫はH I Dランプが寄与した。

一方で低下品目については、生産はプログラマブルコントローラ・一般用エンジン発動機など、出荷はプログラマブルコントローラ・電子レンジなど、在庫は電気掃除機・クッキングヒーターなどが寄与した。

表2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生 産	指 数	62.0	92.5	85.1	95.2	96.2	93.2
	増加率(%)	▲37.3	49.2	17.2	11.9	1.1	▲3.1
出 荷	指 数	62.1	91.0	82.2	93.2	95.5	92.7
	増加率(%)	▲36.8	46.5	16.1	13.4	2.5	▲2.9
在 庫	指 数	101.6	76.8	99.0	91.3	91.5	73.8
	増加率(%)	▲28.4	▲24.4	2.5	▲7.8	0.2	▲19.3
在 庫 率	指 数	321.8	427.9	351.2	329.0	502.5	543.1
	増加率(%)	145.8	33.0	15.4	▲6.3	52.7	8.1

図2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 —生産、出荷指数ともに3年ぶりの上昇—

平成22年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産は51.2%の上昇、出荷は43.0%の低下、在庫は866.2%の上昇であった。

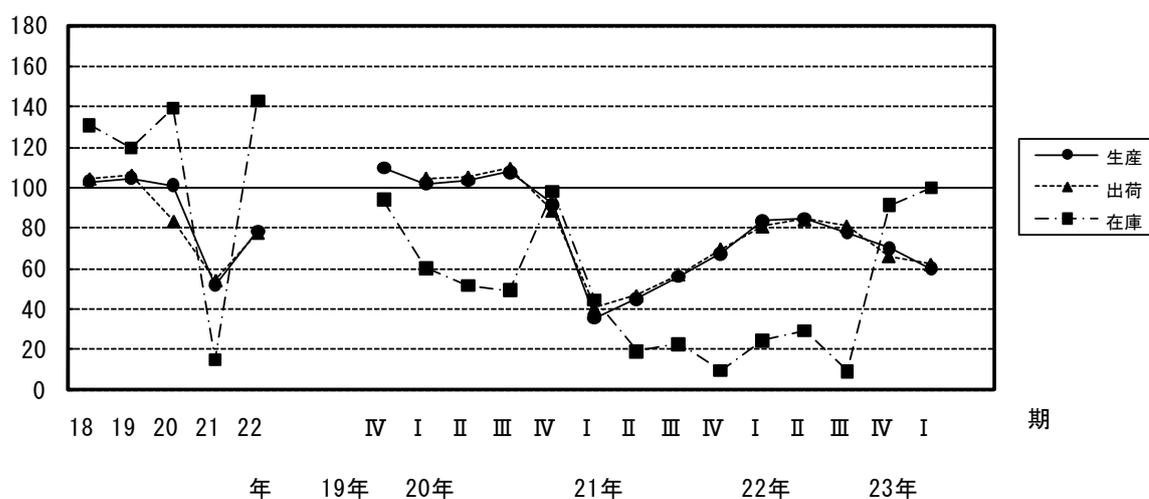
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は乗用車・自動車エンジンなど、在庫は乗用車・けん引車などが寄与した。

一方で低下品目については、生産・出荷は全品目で上昇し、在庫は普通トラックが寄与した。

表2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	52.0	78.6	83.6	84.7	78.1	70.3
	増加率(%)	▲48.7	51.2	23.7	1.3	▲7.8	▲10.0
出荷	指数	54.4	77.8	80.9	84.4	81.1	66.3
	増加率(%)	▲46.7	43.0	15.7	4.3	▲3.9	▲18.2
在庫	指数	14.8	143.0	24.5	29.4	9.3	91.4
	増加率(%)	▲89.4	866.2	157.9	20.0	▲68.4	882.8
在庫率	指数	96.8	52.2	24.7	38.5	25.4	109.5
	増加率(%)	43.2	▲46.1	9.3	55.9	▲34.0	331.1

図2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 —生産、出荷指数ともに上昇—

平成22年の化学工業は、前年に比べ、生産は4.8%の上昇、出荷は4.7%の上昇、在庫は▲0.5%の低下であった。

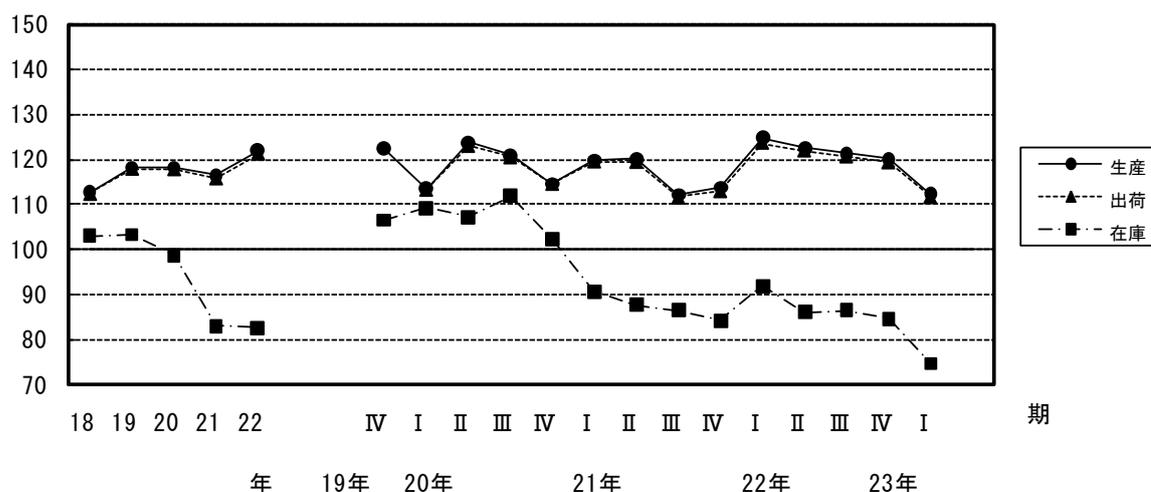
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は医薬品・印刷インキなど、在庫は合成樹脂塗料・ウレタンフォームなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は化粧品、在庫は印刷インキ・シンナーなどが寄与した。

表2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	116.5	122.1	124.9	122.6	121.4	120.1
	増加率(%)	▲1.5	4.8	9.8	▲1.8	▲1.0	▲1.1
出荷	指数	115.9	121.3	123.7	122.0	120.7	119.4
	増加率(%)	▲1.7	4.7	9.4	▲1.4	▲1.1	▲1.1
在庫	指数	83.0	82.6	91.9	86.1	86.5	84.6
	増加率(%)	▲16.0	▲0.5	9.1	▲6.3	0.5	▲2.2
在庫率	指数	114.6	105.1	108.1	103.5	104.6	104.7
	増加率(%)	2.3	▲8.3	2.8	▲4.3	1.1	0.1

図2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 ー生産、出荷指数ともに4年ぶりの上昇ー

平成22年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産は4.9%の上昇、出荷は5.4%の上昇、在庫は0.7%の上昇であった。

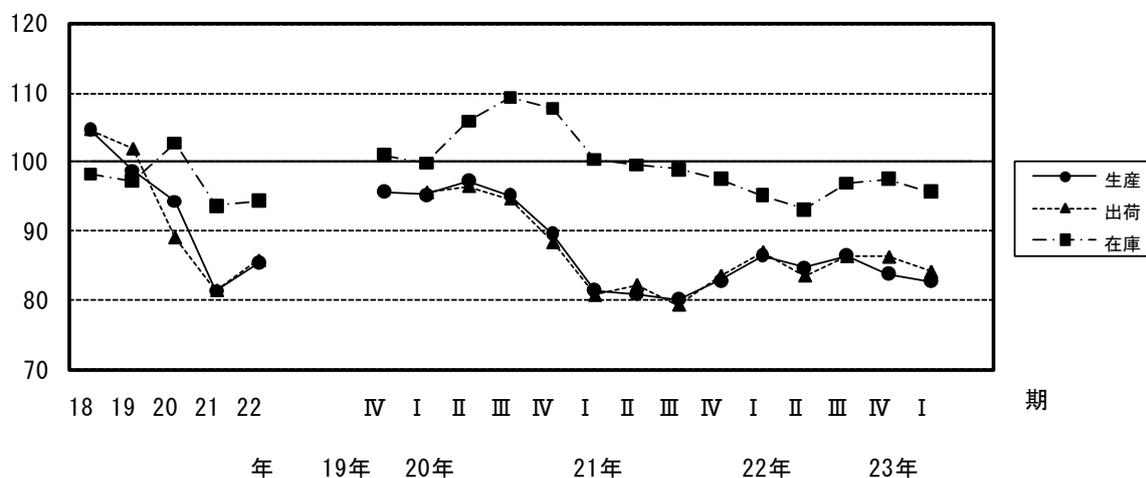
品目別に上昇品目をみると、生産はプラスチック製フィルム・プラスチック製継手など、出荷はプラスチック製容器・プラスチック製フィルムなど、在庫は強化プラスチック製品・合成皮革などが寄与した。

一方で低下品目については、生産はプラスチック製容器・日用品・雑貨プラスチック製品など、出荷はプラスチック製機械器具部品・日用品・雑貨プラスチック製品など、在庫はプラスチック製機械器具部品・プラスチック製建材などが寄与した。

表2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生 産	指 数	81.4	85.4	86.5	84.7	86.5	83.9
	増加率(%)	▲13.7	4.9	4.3	▲2.1	2.1	▲3.0
出 荷	指 数	81.4	85.8	87.0	83.6	86.4	86.3
	増加率(%)	▲13.3	5.4	4.6	▲3.9	3.3	▲0.1
在 庫	指 数	93.7	94.4	95.2	93.2	97.0	97.6
	増加率(%)	▲8.9	0.7	▲2.5	▲2.1	4.1	0.6
在 庫 率	指 数	129.1	119.2	115.3	117.7	116.4	128.2
	増加率(%)	16.3	▲7.7	▲6.9	2.1	▲1.1	10.1

図2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



3 財別動向

(1) 生産 —最終需要財・生産財ともに3年ぶりに上昇—

平成22年の生産動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は10.2%（投資財13.1%、消費財8.7%）の上昇、生産財も24.3%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では半導体製造装置（投資財）や乗用車（消費財・投資財）、生産財では空気圧機器・混成集積回路などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では基地局通信装置（投資財）・携帯電話（消費財）、生産財ではプログラブルコントローラなどが寄与した。

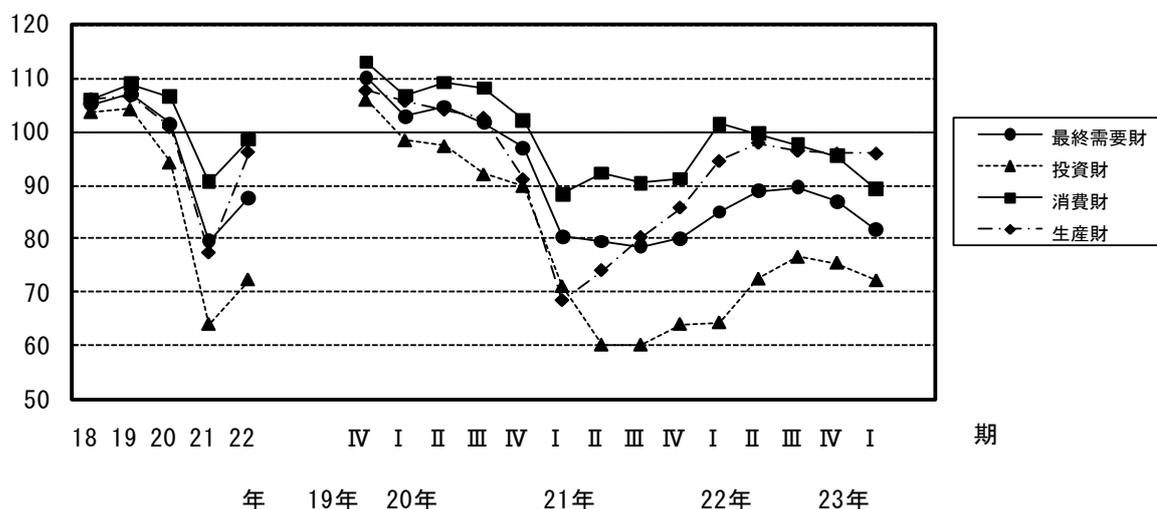
表2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	79.6	87.7	85.0	88.9	89.6	87.0
	増加率(%)	▲21.6	10.2	6.1	4.6	0.8	▲2.9
投資財	指数	64.0	72.4	64.3	72.5	76.6	75.5
	増加率(%)	▲32.1	13.1	0.5	12.8	5.7	▲1.4
資本財	指数	55.7	68.5	56.5	70.2	75.4	71.8
	増加率(%)	▲39.1	23.0	▲1.4	24.2	7.4	▲4.8
建設財	指数	81.0	80.2	80.4	78.0	80.0	82.3
	増加率(%)	▲19.3	▲1.0	4.6	▲3.0	2.6	2.9
消費財	指数	90.6	98.5	101.5	99.6	97.6	95.5
	増加率(%)	▲14.9	8.7	11.3	▲1.9	▲2.0	▲2.2
耐久消費財	指数	56.0	72.1	71.7	73.9	72.4	70.1
	増加率(%)	▲41.4	28.8	13.1	3.1	▲2.0	▲3.2
非耐久消費財	指数	111.5	114.4	116.6	114.5	114.0	112.8
	増加率(%)	▲1.3	2.6	6.8	▲1.8	▲0.4	▲1.1
生産財	指数	77.4	96.2	94.5	97.9	96.4	95.9
	増加率(%)	▲23.2	24.3	10.1	3.6	▲1.5	▲0.5
鉱工業用生産財	指数	72.4	94.6	92.4	96.7	95.0	94.3
	増加率(%)	▲27.7	30.7	12.1	4.7	▲1.8	▲0.7
その他用生産財	指数	101.3	103.7	108.7	104.1	100.7	102.0
	増加率(%)	▲2.8	2.4	7.5	▲4.2	▲3.3	1.3

図2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 出荷 —最終需要財・生産財ともに3年ぶりに上昇—

平成22年の出荷動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は11.6%（投資財14.1%、消費財10.4%）の上昇、生産財も22.3%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では開閉制御装置（投資財）や乗用車（消費財・投資財）、生産財では空気圧機器などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では基地局通信装置（投資財）や携帯電話（消費財）、生産財では銅電線などが寄与した。

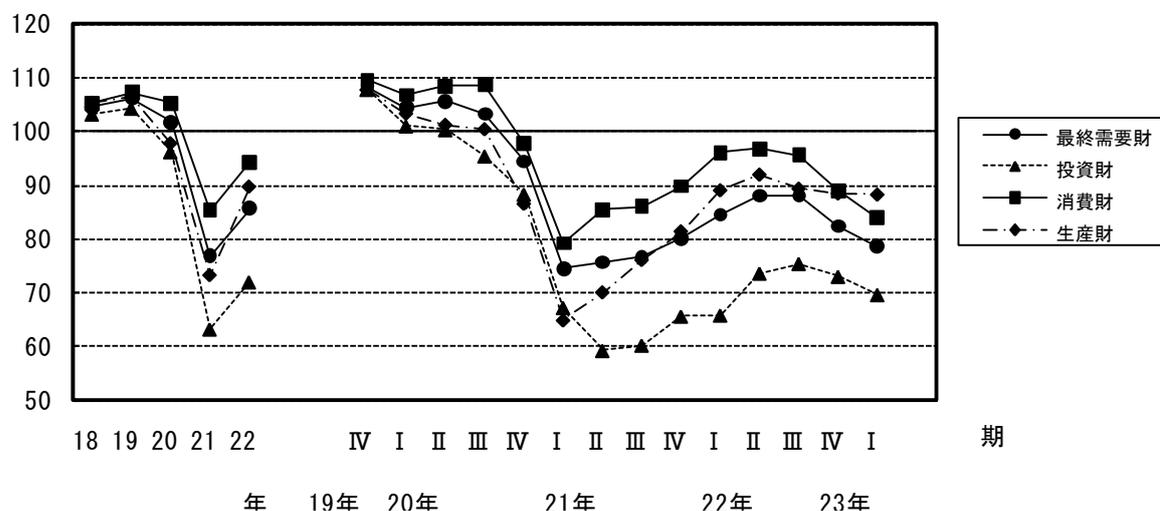
表2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	76.9	85.8	84.6	88.1	88.1	82.4
	増加率(%)	▲24.5	11.6	5.5	4.1	0.0	▲6.5
投資財	指数	63.2	72.1	65.9	73.7	75.5	73.1
	増加率(%)	▲34.4	14.1	0.3	11.8	2.4	▲3.2
資本財	指数	55.5	68.2	60.2	71.3	72.7	68.7
	増加率(%)	▲41.0	22.9	▲0.3	18.4	2.0	▲5.5
建設財	指数	81.9	81.4	82.7	78.9	79.9	83.7
	増加率(%)	▲19.6	▲0.6	6.3	▲4.6	1.3	4.8
消費財	指数	85.4	94.3	96.1	96.8	95.6	89.0
	増加率(%)	▲18.9	10.4	7.0	0.7	▲1.2	▲6.9
耐久消費財	指数	63.0	78.2	77.1	83.0	82.2	70.7
	増加率(%)	▲36.5	24.1	3.5	7.7	▲1.0	▲14.0
非耐久消費財	指数	110.1	112.1	114.2	112.2	111.5	110.7
	増加率(%)	▲1.7	1.8	5.6	▲1.8	▲0.6	▲0.7
生産財	指数	73.4	89.8	89.1	92.0	89.4	88.5
	増加率(%)	▲24.9	22.3	9.3	3.3	▲2.8	▲1.0
鉱工業用生産財	指数	68.7	87.4	85.9	90.1	87.5	86.0
	増加率(%)	▲29.0	27.2	10.0	4.9	▲2.9	▲1.7
その他用生産財	指数	101.3	103.6	108.9	103.9	100.7	101.8
	増加率(%)	▲2.8	2.3	7.8	▲4.6	▲3.1	1.1

図2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 在庫 —最終需要財・生産財ともに上昇—

平成22年の在庫動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は71.8%（投資財14.0%、消費財130.0%）の上昇、生産財も6.8%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では強化プラスチック製品（投資財）や乗用車（消費財・投資財）、生産財では整流素子などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では分析機器（投資財）や電気掃除機（消費財）、生産財ではクッキングヒーターなどが寄与した。

表2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		21年	22年	22年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	55.7	95.7	53.7	54.7	51.7	79.0
	増加率(%)	▲50.9	71.8	16.0	1.9	▲5.5	52.8
投資財	指数	71.9	82.0	69.2	70.4	69.1	77.3
	増加率(%)	▲21.8	14.0	1.8	1.7	▲1.8	11.9
資本財	指数	41.1	78.9	40.7	47.3	33.4	63.6
	増加率(%)	▲52.8	92.0	22.2	16.2	▲29.4	90.4
建設財	指数	88.7	83.7	83.4	82.4	86.1	84.9
	増加率(%)	▲6.2	▲5.6	▲8.9	▲1.2	4.5	▲1.4
消費財	指数	45.4	104.4	45.0	44.0	36.7	78.8
	増加率(%)	▲64.3	130.0	28.9	▲2.2	▲16.6	114.7
耐久消費財	指数	38.7	108.8	37.6	37.0	27.0	78.7
	増加率(%)	▲70.4	181.1	32.4	▲1.6	▲27.0	191.5
非耐久消費財	指数	80.4	81.4	77.9	80.6	84.1	78.9
	増加率(%)	▲26.2	1.2	0.3	3.5	4.3	▲6.2
生産財	指数	76.3	81.5	76.9	78.6	81.6	81.4
	増加率(%)	▲28.7	6.8	2.7	2.2	3.8	▲0.2
鉱工業用生産財	指数	76.0	81.1	76.8	78.5	81.4	81.2
	増加率(%)	▲28.8	6.7	2.8	2.2	3.7	▲0.2
その他用生産財	指数	97.0	115.4	78.7	87.9	95.8	105.7
	増加率(%)	▲17.2	19.0	▲11.5	11.7	9.0	10.3

図2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

